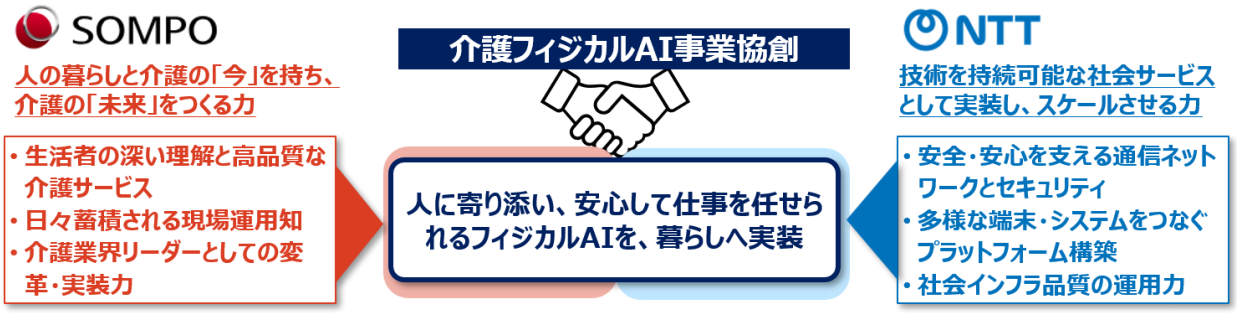
２０２６年１１月１２日
ＳＯＭＰＯホールディングス株式会社
NTT 株式会社

ＳＯＭＰＯホールディングスと NTT がパートナーシップ協定を締結
～介護分野におけるフィジカル AI 社会実装にむけて～

ＳＯＭＰＯホールディングス株式会社（グループＣＥＯ取締役代表執行役社長：奥村 幹夫、以下「ＳＯＭＰＯホールディングス」）と NTT 株式会社（代表取締役社長：島田 明、以下「NTT」）は、介護業界の人手不足という社会課題の解決に向けて、介護分野におけるフィジカル AI※の社会実装を推進するパートナーシップ協定を２０２６年１１月１１日に締結しました。



図：介護フィジカル AI の協業イメージ

※カメラやセンサー等を通じて現実空間の状況を把握し、その情報に基づく判断をもとに、ロボット等の機器を介して物理的な動作や作業を行う AI 技術の総称です。本リリースでは、カメラ、センサー、ロボット等およびそれらを連携させるシステムを含めて「フィジカル AI」と表記しています。

１．背景

超高齢社会の進展により、介護現場における人材不足はすでに社会課題となっており、今後その深刻さはさらに増していくことが見込まれています。介護サービスの持続可能性を確かなものにするためには、介護従事者の負担を軽減しつつ、利用者に寄り添うケアの品質を維持・向上することが重要です。一方、フィジカル AI の社会実装には、技術開発だけでなく、人が生活する現場で安全かつ安定的に稼働させるためのデータ、業務設計、運用、保守およびセキュリティ等を一体で整える必要があります。

ＳＯＭＰＯホールディングスと NTT は、日本において早期に課題が顕在化する介護現場において、フィジカル AI を活用した持続可能な介護サービスの実現をめざし、協業に向けた検討を開始します。

２．協業検討の概要

今回の協業検討では、介護現場の課題や優先ユースケース（活用事例）を整理したうえで、人とフィジカル AI の協働を前提とした業務・サービスのあり方、フィジカル AI の研究開発・実証から導入・運用、継続的な改善、事業化までの進め方を検討します。

また、フィジカル AI 事業者等との共創も視野に、介護現場で安全かつ継続的に活用するための実証方法、運用体制および事業化に向けた連携のあり方を検討していきます。

３．両社の連携

ＳＯＭＰＯホールディングスは、介護サービスの提供を通じて培った生活者への理解、介護現場の運用知見、サービス品質の向上および現場変革・実装に関する知見を活用します。

NTT は、安心・安全な通信ネットワーク・セキュリティ、多様な端末やシステムをつなぐプラットフォーム構築、社会インフラ品質の運用等の知見を活用します。

両社は、具体的な取組みに応じてそれぞれのグループ会社と連携し、必要に応じて外部パートナーを加えた推進体制を構築します。

４．今後の展開

ＳＯＭＰＯホールディングスと NTT は、本協定に基づき、対象ユースケース、推進体制、実証計画、データ・知的財産の取扱い、事業化に向けた役割分担等の具体化を進めます。当初の対象ユースケースとしては、ご利用者様への直接的な身体介助ではなく、清掃、洗濯、配膳・下膳、物品運搬などの間接業務を想定しています。あわせて、フィジカル AI 事業者等との連携を広げ、介護現場から社会実装可能なモデルを構築し、他の介護事業者や生活領域への展開も視野に入れて検討します。

以上

本件に関するお問い合わせ先

ＳＯＭＰＯホールディングス株式会社　各種お問い合わせ用フォーム
https://www.sompo-hd.com/contact/

NTT 株式会社　広報部門
Email: ntt-pr@ntt.com